

帯広市女性活躍推進異業種交流会

「おびひろGWS ～Go for women's success～」

2017年7月19日(水)、とかちプラザにて、帯広市と損害保険ジャパン日本興亜株式会社(以下、損保ジャパン日本興亜)による「第1回帯広市女性活躍推進異業種交流会」(名称:おびひろGWS「Go for women's success」)が開催されました。

これは、帯広市と損保ジャパン日本興亜が、同年2月に締結した「女性活躍に関する包括協定」に基づき、働く女性の活躍推進をはかる目的で企画されたもので、今回は、帯広市内の10社・団体が



▲自社の取組みについて説明する講師(損保ジャパン日本興亜 土橋氏)

から21名が参加しました。

はじめに、損保ジャパン日本興亜人事部ダイバーシティ推進グループの土橋沙江副長から、同社で行っている女性活躍推進の取り組みについての説明がありました。損保ジャパン日本興亜は、社員の半数以上を女性が占めており、女性の活躍がなければ会社の成長は望めないという考えに立っています。そこで、2003年に「働きやすさ」、2010年に「働きがい」、2015年に「働き方改革」を課題として取り組んできたこのことで

した。特に、「働きがい」の取り組みでは、コーズ別の人事制度撤廃、女性リーダー研修の充実を軸に、女性のキャリアアップを目指しているとのことでした。その他にも、育児復帰者向けフォーラムの開催や、男性育児休業百パーセント取得の推進、育児短時間勤務制度など、仕事と家庭の両立のための支援が多数報告されました。その後、参加者同士のグループワークが行われ、3つのテーマ①やるべきこと(MUST)②やりたいこと(WILL)③できること(CAN)に沿って、各自がシートに記入し、それをもとに2人1組で参加者同士の交流を行いました。

最後に各参加者が3～5年後に向けた自分自身の課題と、その達成へのアクションプランを作成してそれをグループ内で発表するなどし、和やかな雰囲気の中で交流会が終了しました。

参加者からは、

「他社の取り組みについて伺うことができて、今後の参考になった」などの声が上がりました。

今年度は、11月と2月にも同交流会を開催する予定です。



▲グループワークを行う参加者

男女共同参画に関する用語集

ワーク・ライフ・バランス…「仕事と生活の調和」と訳され、「国民一人ひとりがやりがいや充実感を持ちながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活などにおいても、子育て期、中高年期といった人生各段階に応じて多様な生き方が選択・実現できる」ことをいいます。

ダイバーシティ…直訳すると「多様性」のこと。また、性別や国籍、年齢などに関わりなく、多様な個性が力を発揮し、共存できる社会のことを「ダイバーシティ社会」といいます。組織や企業におけるダイバーシティとは、多様な人材を積極的に活用することで、有能な人材の発掘や、社会の多様なニーズへの対応を図り、生産性を高めようとするマネジメントのことをいいます。



「カエル! ジャパン」キャンペーン

内閣府男女共同参画局では、ひとつ「働き方」を変えてみよう!

「カエル! ジャパン」のキャンペーンへの参加を呼びかけるなど働き方改革に取り組んでいます。

